

人間自身が運命の彫刻家

谷口雅春

吾々は「自分の心」と云う鑿で

自分の運命を彫刻している彫刻家のやうなものです。

自分の心の動かし方の一つ一つが未来の自分の運命を、

良くも悪くも彫んでゆきつつあるのです。

心の一つ一つの動きをゆるがせにしてはならないのです。

一寸した腹立ちの心、一寸した憎みの心、

一寸したイライラした心、ブツブツの心、

それなども必ず肉体の或る形をきざみつつあり、

境遇にある形にきざみつつあると云うのは事実です。

ゲーテも「吾らの心が吾らの肉体の上に及ぼす力は

驚くべきものがある。されば心をして

常に自分の肉体の主人公たらしめよ」と云っています。

心は肉体をそのように彫むだけではありませぬ。

境遇をも運命をもきざむのです。

自分が常に明るい心を持っておれば

明るい楽しい運命がつくられます。

〔新装新版「生活読本」94～95頁〕